



2020-2021年度R.I.テーマ
ロータリーは機会の扉を開く



2020-2021年度 宇多村海見会長

第2848回 例会
2020.10.22

会長あいさつ

週報 No.2153
発行 2020年10月29日
2020-2021年度
会長 宇多村海見
幹事 深澤 圭司
副会長 斎藤 修弘
副幹事 長沼 大策
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 坂 佳三

ゲスト
上尾市総務部
危機管理防災課
主任 加藤 一美様

2020 学年度
ロータリー米山記念奨学生
シンヨウ
修 針叶さん

行事予定
11月5日 会員卓話 大塚崇行会員
「津波記念碑建立事業」
11月15日 地区大会
11月19日 会員卓話 大木保司会員
「国際奉仕事業について」
11月26日 武重秀雄会員
米寿祝

皆さん、こんにちは。さて本日は上尾市総務部 危機管理防災課主任 加藤一美様にお越しいただき、防災全般についてお話しいただきました。防災と言いますと、私は保険代理店ですので、関連付けたお話を少しさせていただきます。保険で自然災害と言うと、近年では火災より台風（風災）や雪災の被害が思い起こされます。この風災と雪災が保険会社の収支を圧迫しております。以前は起こらなかった災害や、想像しなかったレベルの台風が上陸するなど、急激に保険金の支払いが増えています。これを受け、今後の自然災害発生頻度・規模をなかなか予測しきれない中で、各保険会社は火災保険の料率を決める料率算定機構が、料率を改定せざるを得なくなっています。ということで2021年1月、各保険会社、業界一斉で大改定を予定しています。概要だけ申し上げますと、今、火災保険の料率を決めるのは「柱が何でできているか」によります。いちばん保険料率が安いのは鉄筋コンクリート造（SRC造）、石造り、レンガ造りです。次に安いのは鉄骨造（T構造）です。最も保険料率が高いのは木造（H構造＝非耐火構造）です。来たる2021年1月の改定ではこのT構造とH構造について、保険料率がかなり上がると言われています。さらに今までなかった要素として建築年月が問われることとなります。いちばん注意すべきは10年を越える建築年月のT構造・H構造の保険料率が大幅に上がると予測されています。ですので、もし火災保険にご加入されているご自宅等は、今一度証券を見直していただき、来年、年明け早々に、間もなく満期を迎える場合などは、今すぐ解約し、今のうちに入り直す方法がお勧めです。兎角、火災保険と一口で言いますが、火災の時だけでなく風災、雪災、雹災、あるいは風で飛ばされた等々外部からの衝突物による損害や、盗難や、特約を付ければ建物に対する汚損・破損にも保証されるようになってきていますので、建物に対する保証をご自身で判断せず、ぜひお取引がある保険代理店、もしくは私でも結構ですので、ご相談いただければと思います。なにぶんにもご用心をお願いしたいと思います。会長あいさつは以上です。本日もよろしくお願いたします。

幹事報告

深澤 圭司幹事

◇青少年奉仕部門から毎年行われている姉妹地区・韓国RI3750地区とのインターアクト生との交換研修がコロナ禍のため中止になりました。インターアクト協議会は例年通り行われますので詳細は後ほどご連絡いたします。
◇「例会時における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を配布させていただきました。ご一読をお願いいたします。



まなげなければならないのですが、同じ研究室の学生が卒業してしまい、私1人では汲みに行けなくなりました。なので最近では先生が車で私を連れて行ってくださるようになったのですが、行く日時は先生の都合に合わせてなければなりません。先生はすごく忙しくて9月からサンプルを採取に行けず、卒論の実験が止まっています。そのような時は前の実験や論文をやっているの暇ではありませんが、サンプルがないと安心できません。来週月曜には先生の都合をつけてもらい採取に行ってきます。卒業まで時間が少なく、これから忙しくなりそうです。引き続きよろしくお願いたします。



委員長報告

米山記念奨学委員会 樋口雅之委員長

今月初めの部門セミナー報告でも少し触れましたが、米山記念奨学部門NEWSが昨日メールで届き、米山記念奨学事業の近況（寄付状況等）が約1億円減になっているとのこと。新型コロナウイルス等の影響により、日本全体での寄付額が2年間で1億円近く減少になっています。そんなコロナ禍の中、当地区の指定校である大学教授の方より、国から支給の特別給付金10万円をご家族合わせ3名分も寄付いただくという嬉しい出来事もありました。全体の寄付額減をカバーするには、お一人お一人のご協力を頂くしかないかなと思いますので、ぜひよろしくお願いたします。
それです。米山記念奨学委員会とは別件で、親睦活動委員会（坂本委員長）発信で、11月5日（木）18:30から新会員歓迎会を開催させていただきます。出欠回答がまだの方は期日までにご回答をお願いいたします。



例会主題

斎藤 哲雄 SAA

本日の例会主題に入ります。本日の卓話の上尾市総務部 危機管理防災課 主任 加藤一美様より「上尾市の災害対策について」をお話し頂きます。卓話の前に講師の紹介をSAAよりさせていただきます。
講師の加藤一美様は昭和49年4月、上尾市に消防士として入署、以来、消防司令、消防司令長を歴任され、平成26年4月～平成28年3月に退職されるまで上尾市消防本部の消防長として上尾市全体の消防行政を立派にまとめた、42年間にわたる経験をお持ちの防災のエキスパートであります。退職後は現在の危機管理防災課で、長年の経験を活かし主任としてご活躍されているところでもあります。加藤様、よろしくお願申し上げます。

上尾市の災害対策について

上尾市総務部 危機管理防災課 主任 加藤一美様

皆さん、こんにちは。本日は上尾市の災害対策についてお話しさせていただきます。上尾市は自然災害が比較的に少ない市ですが、台風や豪雨での風水害や地震による被害が想定されます。昨年10月12日には台風19号が上陸し大きな被害をもたらしました。最近の台風は、海域での勢



平方上宿地区の被害の様子
10月13日午後1時



力を維持しながら上陸してくる確率が高くなっています。海水温が上がったせいとも言われていますが、それにより雨や風がずいぶん強くなっています。

昨年の台風19号は、連続雨量192mm、最大時間雨量25mm、最大瞬間風速31.3mで、道路冠水43カ所、床上浸水46棟、床下浸水12棟、ほか車両水没、倒木などの被害がありました。これに対して市のとった対応は、非常体制1号配備で、災害対策本部を設置しています。避難に関する情報は、防災行政無線、広報車、エリアメール、Lアラート、市HP、メールマガジン、Yahoo!防災関連アプリ等で広めました。避難所は30カ所開設し、避難者数は391世帯、999人いました。

気候の変化を踏まえ、気象庁では警戒レベルの判断が平成31年3月に改正されました。レベル3で「高齢者らは避難」、市では「避難準備・高齢者等避難開始」。レベル4で「全員避難」、市は「避難勧告、避難指示（緊急）」。レベル5で「災害発生」「命を守る最善の行動をとってください」となります。自分が避難する際の「マイ・タイムライン」を作ってもらおうと市の方で取り組んでいます。

次に地震への備えについてご案内します。埼玉県が平成24・25年度に作成した地震被害想定調査報告書では、今後30年以内の地震発生確率がある5つを紹介しています。東京湾北部地震70%、茨城県南部地震70%、元禄型関東地震ほぼ0%、関東平野北西縁断層帯地震0.008%、立川断層地震2%以下があげられます。地震が起きた際、被害を最小限に食い止めるための行動をご紹介します。いちばん初めにやっていただきたい防災対策が

【自助】（自分の身は自分で守る）です。自宅の耐震化、家具の固定、避難経路の確認、備蓄などになります。次の防災対策は【共助】（自分達のまちは自分達で守る）です。自主防災組織、助け合い組織の結成・強化、地域防災サポート企業・事業所の活用、連携などです。そして【公助】（国、県、市町村の取り組み）は公共施設の耐震化、災害対応力の強化、救助活動です。災害の時、役所は個人ごとの希望にそえない場合がありますので、自助や共助によるまちづくりを促進していただければと思います。

上尾市の防災対策、【公助】についてご紹介します。災害が起きた際に安全を確保する場所、一時的に生活をするための施設など避難所を整備しています。指定避難所は小中学校など42カ所を指定しています。その他に福祉避難所もあります。

次に上尾市の備蓄対策についてです。災害時に必要な食料、飲料水、生活必需品、各種資機材などは、各避難所など市内各所に設けられた防災倉庫や小学校の余裕教室に分散して備蓄し、いざという時に備えています。たどし量は少ないです。市域のピーク時避難者人口11,000人の食料は想定で、市が1.5日分、県が1.5日分のあわせて3日分を保存しています。ですから皆さん個人・ご家庭ごとに備蓄をしておいていただくと幸いです。そのほか大事なのはトイレです。地震になると上下水道が止まってしまう場合がありますので簡易トイレやマンホールトイレを備えています。赤ちゃんやお年寄りにはおむつも備えています。

次に【共助】にあたる自主防災組織についてお話しします。阪神淡路大震災を機に全国で自主防災組織の結成が進んでいます。地域の住民どうしが話し合っていていざという時に避難を呼びかけたり、避難誘導したり、救出・救護、初期消火、避難所の運営を行う、自主的に組織されたものです。上尾市内には117の自主防災組織があります。

災害発生時、皆さんに情報をお知らせする手段として防災行政無線等を設けています。防災無線放送塔は市内127カ所に設置しています。場所によっては聞こえない、聞きづらいなど問題がありますので、現在デジタル化を進めています。放送については市のメールマガジンに登録いただくと文章で確認できますので、登録をお願いできればと思います。そのほか広報車など情報ができる

Yahoo!防災速報アプリ アプリのダウンロードはこちら



ようになっています。2018年11月には上尾市とヤフー株式会社との間で「災害に係る情報発信等に関する協定」が締結されました。この協定により、災害時には市HPのコピーであるキャッシュサイトが用意され、災害時に予想される市HPへのアクセス集中によるサーバー負担など行政の軽減や、市からの緊急情報をヤフー株式会社が提供する「Yahoo!防災速報アプリ」を通じて市民に必要な情報のプッシュ配信を行えるなど、ヤフー株式会社より無償で提供されます。昨年の台風19号の時も防災アプリを使わせていただきました。アプリをダウンロードし、地点登録、位置情報を入れていただければ情報が得られますので、皆さんもぜひ活用していただければと思います。

次に皆さんに直接関係する【自助】、「命を守る三つの自助」をやっていただければと思います。埼玉県と県内63市町村で取り組んでいる自助です。**家具を固定しよう**：圧死を防ぐため、皆さんにお配りした「防災マニュアルブック」にイラスト付きで紹介されていますので、そちらをご覧ください。対応していただきたいと思います。**災害伝言ダイヤルを体験しよう**：安否情報の確認について。家族がバラバラになった場合など、災害用伝言ダイヤル（171）、災害用伝言版があります。**食料のローリング備蓄を始めよう**：備蓄品を

改めて別に確保すると言うのではなく、普段から水や食料などを常備し、それを利用しながら使った分を買い足すということを繰り返しながら備蓄量を確保する方法です。

最後に、自宅での避難生活に役立つ最新防災グッズを抜粋してご紹介します。ポリ袋：大・中・小の3種類をご用意ください。大サイズは段ボールに2枚くらい入れるとバケツの替わりにも使えます。中サイズは汚物を入れ、小サイズは料理に使えます。ラップ：災害時、お皿を使って洗い流す水がない時、ラップをお皿に敷いていただくと洗わないで済みます。また包帯がない時、傷口にガーゼを当てて包帯代わりにラップで巻けます。**LEDランタン**：懐中電灯よりこちらの方が両手が使えるし周り全体が明るくなるのでいいです。**口腔ケア用ウェットティッシュ**：ライフラインが止まっていると歯磨きができませんのでこれで歯磨きをします。**携帯ラジオ**：電池式ではなく手巻き式がお勧めです。手巻き式は携帯電話の充電ができ、そうすると連絡できたり、災害用のアプリを見れるからです。

貴重なお時間をいただき、またご清聴いただきありがとうございました。



スマイル 加藤様、卓話を披露いただきありがとうございました。

宇多村会長 門崎委員長、芳賀委員長、お久しぶりです！
門崎会員 9月の誕生日祝い、ありがとうございました。
深澤幹事/斎藤修弘副会長/長沼副幹事/大塚信郎会員/
村岡会員/尾花会員/大木保司会員/島村会員/齋藤博重会員/
藤村会員/齋藤哲雄会員/樋口会員/小田切会員/丹井会員/
大木崇寛会員/奥川会員/関口良康会員/山崎会員

出席率	
会員数	37
出席数	26
欠席数	11
	70.27%

